

労災情報たかやま (H29.7月号)

高山労働基準監督署(安全衛生課)

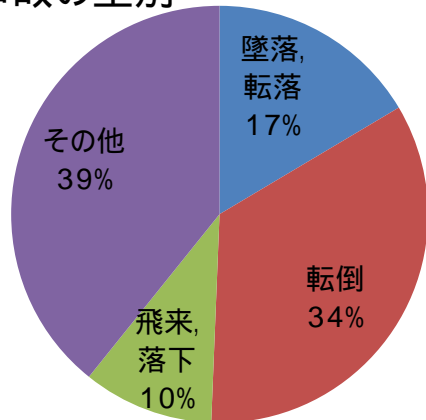
平成29年6月末時点の労働災害発生状況について

主要産業の死傷者数

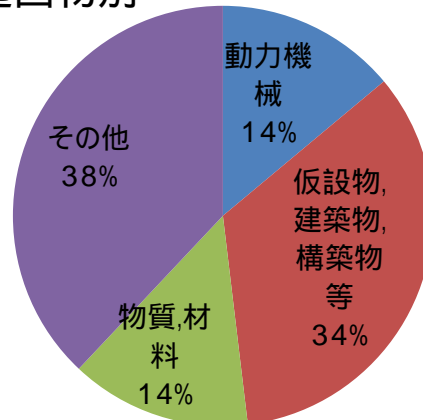
| | 平成29年 | | 平成28年 | | 対前年比 増減数 | | 対前年比 死傷者数 増減率 |
|-----|-------|----|-------|----|-------------|----|---------------------|
| 全産業 | (2) | 79 | | 66 | (2) | 13 | 19.7% |
| 製造業 | | 17 | | 23 | | -6 | -26.1% |
| 建設業 | | 13 | | 8 | | 5 | 62.5% |
| 運送業 | | 6 | | 3 | | 3 | 100.0% |
| 林業 | (1) | 8 | | 5 | (1) | 3 | 60.0% |
| 商業等 | (1) | 33 | | 24 | (1) | 9 | 37.5% |

注)カッコ内は死亡者数

事故の型別



起因物別



コメント

平成29年も半分が終わりました。平成29年上半期の休業4日以上の労働災害発生件数は79件と、**前年同期比約1.2倍**となっています。事故の型別では1位「転倒」、2位「墜落、転落」、3位「飛来、落下」の順で、起因物別では1位「仮設物・建築物・構築物等」、2位「動力機械」、「物質、材料」となっています。

熱中症対策をお願いします！

最近では日中に気温が30℃を超える日があるなど、熱中症のリスクが高くなってきています。

厚生労働省では、5月～9月をクールワークキャンペーン期間とし、7月を重点取組期間としています。

暑さ指数(WBGT値)の把握、設備対策の検討、休憩場所の確保の検討、教育研修の実施等、適切な熱中症対策の実施をお願いします。

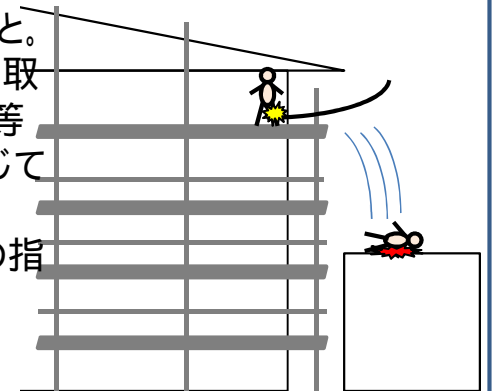
災害事例

災害発生状況

足場の解体作業中、建物への引き込み線でつまづき、足場上から隣接する倉庫へと墜落したものの。

災害発生原因

- ・引き込み線に足を取られたこと。
- ・足場の解体により、手すり等を取り外しているが、安全帯の使用等代替となる墜落防止対策を講じていなかったこと。
- ・足場の組立て等作業主任者の指揮によらず、足場の解体作業を行ったこと。



再発防止対策

- ・事前に引き込み線の移設を行っておくこと。移設ができない場合は、引き込み線があることが分かるような注意喚起の表示を行うこと。
- ・安全帯の着用、使用を徹底すること。
- ・足場の解体作業については、足場の組立て等作業主任者の直接指揮により作業を実施すること。